

日本アロセラピー学会 関西・四国中国支部合同地方会

テーマ：「産科領域のアロマセラピー新しい可能性を探る」

日時：2022年3月26日（日） 13:00～16:00

参加形式：ZOOM ※ポイントについて 参加者5ポイント（全部聴講のみ、部分付与なし）

参加申込：[アロマセラピー学会サイトから](#) 参加費：会員 2,500 円 非会員 5,000 円

【プログラム】

13:00～13:05 開会あいさつ 日本アロマセラピー学会 関西・四国中国地方会長 相原由花

13:05～14:20

講演1「産婦人科病棟でのアロマセラピー」

横田実恵子先生

東京警察病院看護部副師長・助産師・英国 IFA 認定アロマセラピスト



妊娠は、つわり、足のむくみ、こむら返り、腰痛など不快症状を伴う。また産婦は、分娩第一期を不安や緊張の中、産痛に耐えながら過ごし、産後はお産の疲れが癒えないまま慣れない育児が始まり、心と身体が疲れてしまうことが多い。このような産科の患者の症状緩和をするために看護としてアロマセラピーが有効なことがある。今までの経験をもとに産科看護についてお伝えする。

14:20～15:20

講演2「助産師による訪問アロマセラピーと産前産後院での活動報告」

中村由美子先生

中村助産院（出張専門） / 「産前産後ケアホテルぶどうの木京都院」
助産師・看護師・HCPS 認定臨床アロマセラピスト



訪問による助産ケアに加えてアロマケアの提供を行っている。香りを選ぶ産婦の表情はにこやかで、気に入った香りに出会えた喜びが見られることは癒しの第一歩だと実感している。実践では、安全性の確保は勿論、わずかな感情の変化も捉え、精神的・身体的な負担を考慮して短い時間のケアにとどめるなどの配慮が必要である。産婦のこれまでの生き方が露呈する場面もあり、繊細に揺れ動く心身へのケアは単純ではなく、慎重な関わりが要求される。経験の中から得た産婦への適切なアロマケアの方法を示す。

15:25～15:55

症例発表 *JSA トリートメント MAS 認定取得者の方にご発表いただく予定です。

16:00 閉会の辞